まじめが格好いい

TEAM FUJISAWA SEIRYU

藤沢清流高校の散歩

Since 2010　October.2013

＊＊＊　**10月号その2**　＊＊＊

今月の学校説明会は、オープンスクールの形で普段のようすを見ていただきました。10月の後半は2年次生にとって待ちに待った、研修旅行。今年は長崎県を中心に行われました。

◆オープンスクールが行われました

10月19日（土）、オープンスクールが行われました。「普段の藤沢清流」を見ていただくために、土曜日ですが平日の授業日との振替え授業を行い、多くの中学生とその保護者の方に参加をいただくことができました。

全体説明会では、生徒会役員が司会をつとめ座談会形式で、「生徒の目線から見た藤沢清流」を感じてもらうコーナーもあり、理解を深めていただけたと思います。参加者にはその後、授業のようすを見学していただきました。

生徒会による部活動紹介

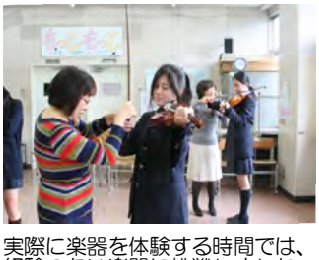
生徒会本部役員による座談会

◆文化庁支援による芸術家派遣

10月21日（月）と10月23日（水）の2日間にわたって、「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」（文化庁支援事業）の一環として、音楽家を招請した特別授業（音楽Ⅰ）が行われました。

今回は、東京サロンシンフォニーオーケストラ　コンサートミストレス大津千代子さん（ヴァイオリン）をはじめ、ヴィオラ、チェロ、フルート、マリンバの各奏者と常任指揮者の方にお越しいただき、音楽の道を目指したきっかけの話や楽器の説明、ミニコンサート、楽器演奏体験といったプログラムで行われました。生徒たちは、プロの音楽家の奏でる音に聴き入ったり、初めての楽器を楽しんだりと、まさに「文化芸術」を体験する１日となりました。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルートのアンサンブル。楽器の組み合わせを変えていくつかの曲を紹介していただきました。



実際に楽器を体験する時間では、経験のない楽器に挑戦しました。

◆2年次研修旅行が行われました

10月28日（月）～31日（木）、長崎県において平和学習と体験学習を目的として、２年次研修旅行が行われました。

長崎県北部の松浦、田平地区と鹿町小佐々地区において、地域のご家庭にお世話になる民泊体験と、産業体験を行いました。漁業が盛んで、地域に根付いた伝統料理も多いこの松浦で、生徒は豊かな自然と文化を学ぶため、研修旅行1日目午後と2日目午前にそれぞれ２つのプログラムを体験しました。

両手、両足を駆使して作るわら草履には苦戦。

入り組んだ海岸線をもつ長崎の海では、様々な魚介類が豊富に獲れます。漁船に乗りこんでの船釣りや、港釣りといった漁業体験では、天候にも恵まれ、大変充実したものとなりました。またこの日に釣った魚は各民泊家庭に配られ、夕食でその新鮮なおいしさを堪能しました。

漁船での釣り体験。べらやカサゴ、鯛も釣れました。

原爆資料館のホールで、被爆体験をされた方からお話を聞きました。

着物姿で出島を散策。道行く人からの注目度も高かったようです。

有明海の広大な干潟の一角で行う綱引きは「ガタリンピック」の一コマです。

体験学習からスタートした2日目は、午後、長崎市内に向かって移動。長崎平和公園に集合し、平和祈念像の前でクラスごとに記念撮影を行いました。長崎原爆資料館へと移り、館内を見学した後、ホールで爆心地から500メートルの場所で被爆された方による被爆体験講話を聞きました。原爆によってご家族を亡くされたというお話を聞いて、戦争の悲惨さ、原爆による被害のすさまじさに思わず涙を流す生徒もおり、平和のありがたさを学ぶことができました。

３日目は、終日長崎市内の班別自主研修を行い、最終日は、コースごとに分かれて研修を行いました。「西海国立公園」「有田伝統体験」「北原白秋・柳川ドンコ舟」「有明海干潟ガタリンピック」「長崎ペンギン博物館バックヤードツアー」など、このエリアでしか体験することのできない貴重な学習をすることができました。

地域に根ざした体験学習をする藤沢清流の研修旅行は今年も実り大きなものとなりました。

（文責　副校長・勝山）